やまと社協だより

NO. 266

社協HPはこちら

社会福祉協議会（社協）は、市民の参加と協力によって運営され、地域福祉の推進を図る民間の組織です。

●ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

監修 大和市社会福祉協議会 広報委員会　TEL：046-260-5633

～「できるときに、できることを」友人のようによりそう～

外国にルーツがある人、外国人の暮らしにくさを支える

大和市には現在、約9,600人の外国籍住民が暮らしています。県内有数の多文化共生の街です。学校や公園、スーパーなどで、外国ルーツの親子を見かけることが増えました。しかし「どんなことで困っているのか」「どこに不安を抱えているのか」は、なかなか見えにくいものです。そこで外国にルーツを持つ人たちを20年以上支援してきた「やまと国際フレンドクラブ（IFC）」の長谷部美由紀会長にお話を伺いました。



ポスターを手に来場を呼び掛ける長谷部さん

――一緒に交流できる「友達」を目指して

元々は（公財）大和市国際化協会の国際交流パーティーの実行委員だったメンバーが、「年に一度の国際交流パーティーだけでなく、年間を通じて一緒に交流できる場を作りたい」と立ち上げたのがIFCの始まりです。活動のモットーは「できるときにできることを」。メンバー自身が無理をせず、楽しむ姿勢を大切にしてきたからこそ、20年間活動を続けてこられました。一番大切にしているのは日常の交流であり、支援する・されるという垣根を越えた「友達としてよりそう存在」を目指しています。

――「ことばが分からないから」と壁を作らない、やさしい日本語の力

現在、大和市には90か国以上の方が暮らしており、すべての言語で情報を発信することは不可能です。そのため現場では、マイナンバーや病院の手続き、ごみ出しルールへの対応など、日常の細かな生活変化が外国籍住民に伝わりにくいという課題があります。悪気なく間違えたときに周囲から怒られ、萎縮してしまうケースも少なくありません。そこで私たちが大切にしているのが「やさしい日本語」です。簡単な日本語でゆっくり丁寧に語りかけるだけで、お互いの意思は十分に伝わります。「ことばが通じないから」と壁を作らず、表情やボディランゲージを交えて心を開く姿勢が、日常のすれ違いを解消していくと実感しています。

――個性を発揮できる「アート」を通じた温かい交流

今年で19回目を迎える「やまと国際アートフェスタ」は、ことばや学習に壁があっても絵画を通じて個性を100%発揮できる場として始まりました。こどもたちの豊かな色彩感覚を来場者の投票で評価し、多くの協賛企業から賞を贈ることで、「日本に受け入れられている」という自信や誇りを育んでいます。この受賞をきっかけに、学校で積極的になれた子も多く、保護者からも喜びの声が届いています。他にも、ブラジル風BBQの「だべーる」や、ウクライナ避難民の方が母親からレシピを聞いて再現したボルシチ料理教室など、食を通じた温かい交流も続けています。

――誰もが自分らしく輝ける「同じ市民」としての未来へ

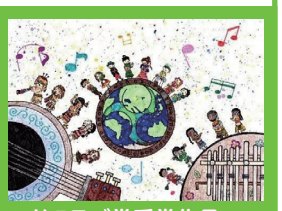
最近では、アートフェスタの応募用紙のルーツ欄に、外国籍であっても「日本」や「大和」と書く、日本生まれ日本育ちのこどもたちが増えてきました。今後はルーツや国籍で区別するのではなく、誰もが「同じ市民」として自然に暮らせる街にしていきたいと考えています。福祉や国際交流は、決して難しいものではありません。展覧会に足を運んで絵に投票することや、企業や団体がスポンサーとして協賛することも、立派な「参加」「交流」です。お互いにできることで支え合い、誰もが自分らしく輝ける社会を、これからも地域の皆様と一緒に作っていきたいです。

第19回 やまと国際アートフェスタ

～世界をつなぐ　友情の色～

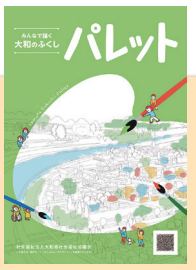
シリウス1階ギャラリーで9/25㈭～27㈯まで開催しています！
ぜひご来場ください！
問い合わせはやまと国際フレンドクラブ☎046-272-1885





2025年やまと国際フレンドクラブ賞受賞作品

目を向けたい8つの問題



地域福祉活動計画パレットでは、「目を向けたい8つの問題」を掲げています。今回は、特に❼に関連した座談会を実施しました。

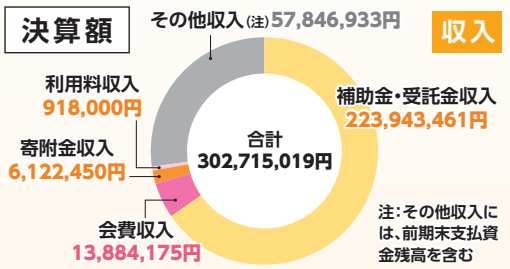
1. 孤独・孤立、無理解の問題
2. ひとり暮らしになったときの不安と、終活・死後の手続きの心配
3. どの年齢層にも存在する買い物困難問題
4. 仕事と住まいの確保の問題
5. 「災害弱者」の被災・避難・生活再建問題
6. こどもとその親などが抱えるさまざまな困難の問題
7. 外国ルーツの人や外国人の暮らしにくさの問題
8. よりそい、ともに成長できる支えあいの広がりの必要性
（求められる多様な支援と、担い手の確保の問題）

令和7年度事業報告と決算

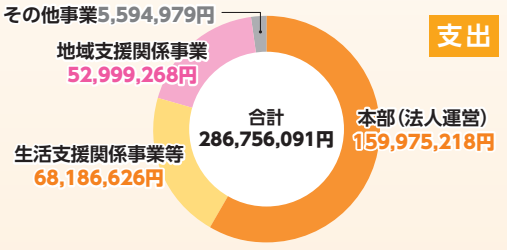
令和7年度は、第7次地域福祉活動計画「みんなで描く大和のふくし“パレット”」の初年度として、計画の浸透や地域との関係づくり、ニーズ把握、広報PR、地域支援体制の再構築など、地域福祉を進めるための土台を着実に築くことができた一年となりました。

決算額

収入



支出



地域福祉への参加　今、私にできること
大和市善意銀行を通じた支えあいのカタチ

善意の金品をお預かりし、それを必要な事業や人・団体等に払い出す「善意銀行」。寄附を続けている「ドキわくランド大和駅前店」の澤田和也店長に、お話を伺いました。

―12年前に澤田店長が始めた寄附への想いをお聞かせください。

会社の理念「感謝」のもと、お客様の善意であるお菓子などの食品を寄附しています。お客様の善意を必要としている人につなげることで、感謝のループを大和に巡らせ、地域に必要とされる存在になれればと思い続けてきました。



笑顔の澤田店長

―寄附を考えている方へメッセージをお願いいたします。

ハードルが高く感じるかもしれませんが、寄附をしようと思った瞬間に感謝の想いは芽生えています。その感謝の気持ちは必ず「ありがとう」として返ってきます。一歩踏み出してみてください。



★市社協では、随時、以下を募集しています！
預かり品等についてもご相談ください。
食料品（米、レトルト食品、保存食等）、布地、着物、帯、紙オムツ類、タオル類、未使用切手、書き損じハガキ

赤い羽根共同募金運動がはじまります

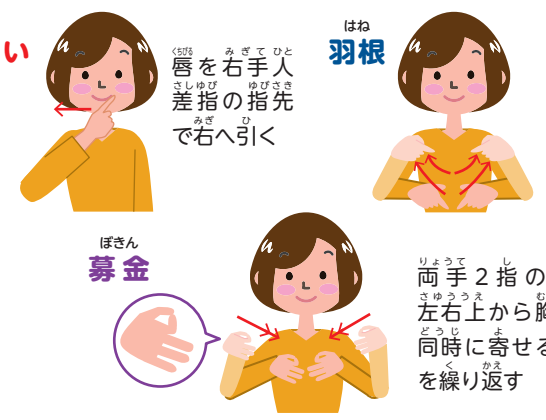
10月1日 ↓ 12月31日

皆様からの寄附金は、市内の福祉施設や団体の地域福祉活動に役立てられます。ご協力をよろしくお願いいたします。



共同募金PR大使「イチゴ」

すぐ話せる手話No.151「赤い羽根募金」



まちの身近にある“働くところ”

障がいのある人が働く場所をおススメとともに紹介します。

法人名：
株式会社 オンステージ
事業所名：
self-A・オンステージ鶴間
住所：神奈川県大和市西鶴間3-9-19　エイワビル202
TEL：046-204-9105

私たちと一緒に、施設外就労や軽作業を通して、ステップアップしていきましょう！
見学・相談受付中です！



次回から新コーナー開始予定です。

わたしたち、応援しています

いつも丁寧に福祉用具をメンテナンスしていただき、ありがとうございます。



サクラサービス株式会社
物流・倉庫管理 係長　神山誠 様

市社協会員にご加入ください！

自治会のご協力のもと…
○一世帯　年額300円～

市社協に直接加入する場合は…
○会社・企業　年額5,000円以上
○団体・施設　年額5,000円

※加入は任意に基づくものです。

やまと社協だより 今年度の発行予定

11月27日㈮、2027年2月26日㈮発行のタウンニュース大和版に掲載いたします。新聞折込や、公共施設、大和駅、市内郵便局や金融機関などで入手できます。郵送希望の方は、市社協へご連絡ください。

問い合わせは　市社協☎046-260-5633へ。

令和8年熊本地震義援金
（共同募金会による義援金募集）

8月31日までに義援金をお寄せいただいた方々

小泉八重子、ボーイスカウト大和第6団、大和市スカウト協議会、カモの会、小波貞子、匿名2件
（順不同・敬称略）

訪問理髪ボランティア募集

募集要件	理容師免許・美容師免許をお持ちの個人ボランティア、または大和市に店舗を構えている理美容店
サービス内容	理髪店等に出向くことが困難な方のご自宅への直接訪問による理髪
サービス料	カットのみ2,000円
申込み	ボランティアセンター 046-260-5643へ。